



# あすか

発行人 特別養護老人ホーム 飛鳥晴山苑

〒114-0024 東京都北区西ヶ原4-51-1  
TEL. 03-3940-9171 (飛鳥晴山苑・事務室)

2020 秋号 No. 30

## 彼岸供養の秋日和

酷暑の時もようやく過ぎて、朝晩、頬を撫でる風に深まる秋の気配。飛鳥晴山苑では9月の23日に、恒例の彼岸供養をいたしました。今年のお彼岸は、コロナ禍で実施できませんでしたので、ご供養は1年振り。この日、供養させていただいたのは、春のお彼岸から秋のお彼岸までの半年間にお亡くなりになった方。長い人生を歩まれ、縁あって私共のもとで最後の時を迎えられた29名。コロナ禍の半年、面会もできないまま旅立



ってしまった方の魂が彼岸のほとりたゆたって、此岸にいるご家族の胸のうちに穏やかに流れてきましたでしょうか。まことに曼殊沙華が咲き誇るこの季節の供養とは、大切な故人の思い出の数々が彼岸・此岸の岸辺を彩る秋日和。

まだまだ治まらない新型コロナ禍。どうやらこれからもWITHコロナを意識して生活しなければならないようです。そんななか飛鳥晴山苑では感染予防のため新型の空気清浄機が導入されました。光触媒反応による除菌・脱臭が期待できるそうで、施設内に大2台、小3台を配しています。また、自動検温システムも導入予定です。これからも感染予防に努め安心・安全な施設をめざします。

「コロナ感染予防に、新兵器登場」



↑顔を近づけるだけで自動検温

←空気中から過酸化水素のイオン等を発生させる空気清浄機



ご利用者のご家族にお話しを伺いました。



直接会えないお母様へのお手紙

細川さんのお母様は飛鳥晴山苑に入居されて6年になる。週2回のペースで面会に来られているので、このコロナ禍での面会禁止はさぞかしストレスだろうとお聞きしたところ、「もちろん会えない寂しさはありますが、ストレスは感じていません。母にとって飛鳥が『自分の居場所』となっていて、穏やかに過ごしてくれている。それが分かっているので安心していられるのだと思いますね」

面会に来られなくなった分、地元の桜の名所に出かけたり、身近な草花を楽しんだり、ある意味自分の時間を取り戻した感じと話される。「安心感があってこそなんですけどね」

特養をご利用される最大のメリットは、「ケアワーカーや看護師、栄養士さんと複数の目で見守ってくださることですね。客観的な複数の目はとても大切です。家族の目は時に視野が狭くなってしまいますから」

なにか施設にご要望は？ とお聞きすると「ご家族の皆さんの眠った人材を活用していただきたいですね。ご利用者にお習字や折り

紙教えていた だいたり、イベントと一緒に参加していただいたり。コロナ禍が終わってからでしょうけど」。

細川さんご自身は和光市を中心に展開する「オペラ彩」で長年活動されている音楽愛好家だ。道理で、お母様と時々歌っておられる歌声のすばらしいこと。ぜひ、その歌声をご利用者にも披露していただきたい。

「願わくば、はやくコロナ禍が治まり、直接会える日が来るといいですね。やっぱりぬくもりを感じたいですから」



ほそかわ・きょうこ 細川 恭子さん 特養ご入居・増田佳子様ご家族

## コロナ禍、外出自粛で気になること 30

新型コロナウイルスの蔓延により、さまざまな社会活動が縮小しているなか、高齢者にも大きな影響が出ています。感染防止のために外出を控える高齢者の身体活動量は、3割も減少しているとか(厚労省調査)。家に閉じこもることでさまざまな弊害が考えられます。

●認知症の進行 趣味の会やデイサービスを控えることで、他の人との交流や会話をする機会が極端に減少し、刺激が少なくなってしまいます。結果としてテレビを一日中見て過ごすなど単調な生活になりがち。そうなると軽い認知症傾向にある人などは、一気に症状が進行してしまうこともあるようです。また、離れて暮らす家族が訪問を控えることも多いはず。顔を合わせる機会が減れば、寂しさも募り精神的に不安にもなるでしょう。家族は電話やオンラインを活用して積極的に状態を把握したいものです。また、久しぶりにペンを取り、お互いの近況を伝え合うのもいいかもしれません。

●身体機能の低下 外出が減り運動する機会がなくなると、筋力が低下しフレイル(虚弱)状態になる危険性が非常に高くなります。生活のリズムを乱さないためにも、人の少ない場所や時間帯を選んで、散歩に出るなどの日課を作りましょう。また、室内でも体操や積極的に家事をすることで、体を動かす機会をあえてつくるのが大切です。





特養・便り



今年の夏は毎年恒例の納涼祭が、新型コロナウイルスの影響で中止となってしまいました。ご利用者様にせめて少しでも夏を感じて頂きたいと、各階で小規模のイベントを実施しました。3密にならないよう配慮しながら、縁日や屋台、夏祭りといった雰囲気、かき氷、綿あめ、たこ焼きといった食べ物を用意。ヨーヨー釣りや魚釣りゲーム、射的などで遊んで頂きました。また盆踊りの曲を流して太鼓を叩いて頂いたり、様々な夏祭りの演目を実施しました。ご利用者様からは笑顔で「懐かしい」「美味しい」「楽しいからまたやって」との言葉を頂戴し、職員も楽しいひと時を共有できて、楽しい夏の思い出となりました。



ショートステイ・便り

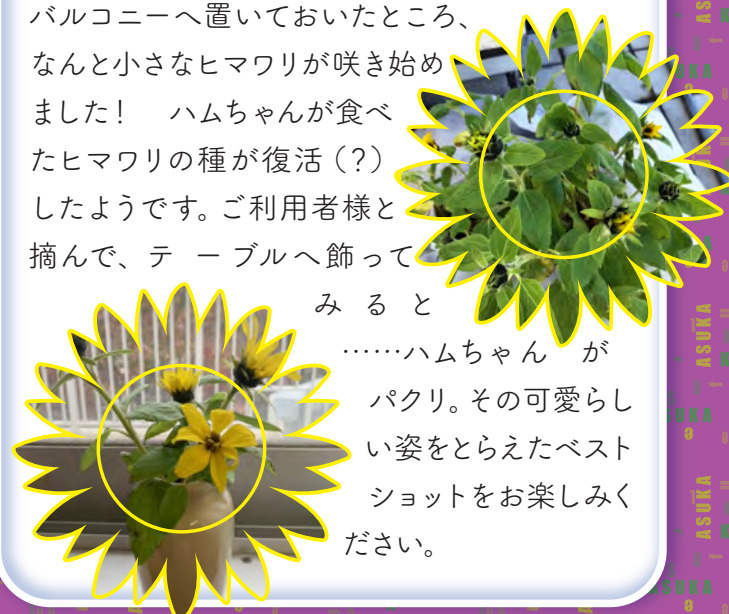


恒例の納涼祭もコロナ禍で中止されました。しかし、それでも夏の風物詩である夏祭りをみな様に楽しんで頂きたく、小規模ながらショートステイのフロア内で納涼祭を実施しました！あまり密にならないよう8月30日と9月6日の2回に分けて各フロアで実施し、ソーシャルディスタンスなど感染予防に配慮しながらの納涼祭は中々大変でしたが、色々と工夫を凝らして頑張りました。法被を着て輪投げやヨーヨーすくいを楽しんだあとは、たこ焼き器でカステラを作ったり、かき氷で涼をとったりなど、夏祭りの雰囲気を存分に感じていただけたかと思います。

デイサービス・便り



ご利用者様や職員の癒しとなっているデイサービスのマスコット、ハムスターのハムちゃんです。ゲージを定期的に掃除しますが、その際に廃棄する巣材を他の植物の肥料にと、ゴミ袋に入れてバルコニーへ置いておいたところ、なんと小さなヒマワリが咲き始めました！ハムちゃんが食べたヒマワリの種が復活(?)したようです。ご利用者様と摘んで、テーブルへ飾って



みると……ハムちゃんがパクリ。その可愛らしい姿をとらえたベストショットをお楽しみください。

ケアパートナー・便り

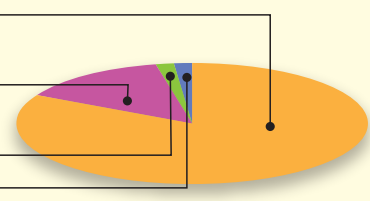


ケアパートナーあすかではご利用者の皆さまにご協力いただき、「満足度調査」を実施いたしました。一部ですがここに結果をご報告いたします。

令和2年8月実施  
95名中 65名回答(回答率=68.4%)  
回答者/ご本人29名・ご家族36名・その他0名

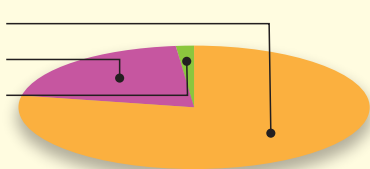
安心してケアマネジャーに相談する事ができますか？

- 1. できる 54(83%)
- 2. どちらかといえばできる 9(13.8%)
- 3. どちらかといえばできない 1(1.6%)
- 4. できない 1(1.6%)



総合的に見て『ケアパートナーあすか』の対応についてはいかがですか？

- 1. 満足 50(77%)
- 2. ほぼ満足 13(20%)
- 3. やや不満 1(1.5%)



★ 貴重なご意見ありがとうございました。みな様の期待にお応えできるよう、具体的なサービスや介護方法の提案をするなど、真摯に向き合う努力を重ねてまいりたいと思います。

ケアパートナーあすか スタッフ一同

訪問看護・便り



災害級といわれた猛暑を乗り越え、やっと秋らしい爽やかな風を感じるようになりました。今回は「学問の秋」ということで一つご報告です。先日第22回日本褥瘡学会学術集会在、オンラインで開催されました。今回の会場は神戸の予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大によりオンラインでの開催のみとなりました。生で演者の発表を聴けない、企業展示が見られない、神戸の美味しい食べ物が食べられないなど、正直残念な点はありません。しかし、オンラインだからこそ後日オンデマンドで演目を観ることができるといったメリットもありました。学会で得た知識をスタッフ間で共有し、ご利用者様の健やかな皮膚のためのケアに活かしていけたらと思います。

高齢者あんしんセンター・便り



今年の夏も暑い日が続きましたね。あんしんセンターでは、コロナ予防に努めながら、事業を徐々に再開しています。7月からは「ひだまりサロン」8月20日、9月4日と「元気はつらつサロン」を開催しました。

ひだまりサロンでは、今回ちぎり絵工作をしました。長期外出していない方も多いでしょうが、感染には十分に気を付けながら事業を行っていますので、みな様ぜひお越しください。



●ひだまりサロン●

毎月第1、3水曜日の10時～11時。  
場所/飛鳥晴山苑内

●カフェあすか・ティールームさくら●

カフェあすか→毎月第4土曜日10時～11時/  
グループホームほくとひまわり2F

ティールームさくら→第4土曜日の午後2時/  
飛鳥晴山苑内

どちらも予約制で認知症などの相談窓口を開いております。

